



2022-2023 Shari Rotary Club Bulletin

- 会長：元木 誠二 ● 副会長：村田 均、高木 壽一 ● 幹事：森田 拓巳
- 創立：1963年10月5日 ● 例会日時：毎週水曜日 12:00~13:00
- 事務所：〒099-4112 斜里郡斜里町港町1 ● 例会場：ホテルグランティア知床斜里駅前
TEL(0152)26-7978 FAX(0152)26-7980 〒099-4112 斜里郡斜里町港町 16-10
TEL(0152)22-1700
- 斜里 RC 事務局メールアドレス Sharirotary@peach.plala.or.jp

第 2871 回例会 2022 年 7 月 27 日 (水)

発行：会報・広報・雑誌委員会

点鐘：元木 誠二 会長

司会：三浦 詔男 副 SAA

1. ゲストおよびビジター紹介 ~なし

2. ロータリーソング ~それこそロータリー(唱和なし)

3. 会長の時間 ~元木会長

・残念ながら、9月3・4日に北見市にて予定されていたライラセミナーが中止になったとの連絡が来ました。
また、これ以上の感染者が出ないよう10月の旭川市で開催予定の地区大会は開催されてほしいものです。

先週の土曜日、北海道新聞に知床斜里観光協会会長として当クラブ前会長である野尻会員の記事が掲載されていました。まずは、この件に関して野尻会員におかれましては心身ともに大変ご苦労されたことと思います。

内容は、観光船事故を受けて、観光協会会長としての心境や今後の展望といったものでした。

「信頼回復には時間がかかる」「マイナスイメージ払拭のために全力で行動する」また、「知床に来た観光客が楽しんでいただき、事業者全体で感謝の気持ちを伝えることが信頼回復につながる」など現在の心境を語っていました。

観光業は斜里町にとっても今後大きな発展をしなければいけない分野であることは間違いありません。観光業はもちろん斜里町の信頼回復のためなら、斜里 RC としても全力で支援したいと考えております。野尻前会長はもちろん、全会員には斜里 RC として支援できる情報や提案などがありましたら積極的に私に情報提供または事業提案などをして下さるようここでお願い申し上げます。

また、未だ発見されていない乗客の早期発見の願いと亡くなられた方へ心よりお悔やみ申し上げます。

さて、本日の例会は私の「会長方針」にもある「会員がより会員を知る」をテーマに会員をメインとした卓話を予定しております。今後も機会がありましたら積極的に会員メンバーを中心に卓話の開催を予定しております。是非とも同じ仲間として会員の事を理解して親睦、さらにはクラブ内の結束力を高めていきたいと思っております。

会員の皆さんは、どのような動機でロータリーに入会したのかを思い出して下さい。私の場合はとても単純で、「誘われたので何となく入会した」です。しかし、入会当時と現在ではロータリーに対する気持ちが全く違うものとして今は意識していますが皆さんは如何でしょうか？

入会当時との意識の違いが自分にとって「成長の証し」として捉えております。

例えば、奉仕活動によってさらに地域愛を育むことができました。親睦によって様々な方と交流を持つことができました。理事・役員を受けることで組織について学ぶことができました。

これらはすべて私の「成長の証し」であるとともに今年度は斜里 RC 会長として人生の中でかけがえのない貴重な経験をしている真っ最中であると今実感していると同時に会長に就任させていただいた会員の皆さまには感謝しております。

何もわからない新入会員にとっては、今後ロータリーの組織や行動を学んでいく機会が多くなると思いますが、「DEI」の「イクイティー（公平性）」の精神にもありますように、その会員に合ったアドバイスを心がけるよう意識していただくと新入会員にとっても理解しやすくなると思っております。

例えば、「あらゆる大会の参加から学んでいく」「夜間例会や家庭集会のような飲食が伴う例会の参加から楽



しみながら学んでいく」「ゴルフやバイクなど共通の趣味で親睦を深めていく」また経験年数の長い会員からのアドバイスを個人的にいただく」などそれぞれの会員にとって学びやすい環境はそれぞれ違う中で、その環境を作っていくことが我々にとっては大切なことではないでしょうか？

そのためにも今例会では皆さんが改めて「会員が会員を知る」とても良い機会だと思っています。

本日も皆さんの貴重な時間を使った例会を有意義に過ごしましょう。

4. 幹事報告 ～森田幹事

- ・9月3日4日に予定されていた「ライラセミナー」は中止となりました。
- ・美幌RCより「年次活動計画書」が届いていますので回覧します。

5. 委員会、その他の報告 ～元木会長

- ・武藤職業・社会奉仕委員長～来月行われる「交通安全啓蒙運動例会」ですが、今週中には当日のご案内を出せる運びとなっておりますので多数の会員の出席をお願いします。
- ・吉野会員～皆さんこんにちは、例会の貴重な時間を拝借してひと言ご挨拶申し上げます。
先日の母の葬儀に際し多くの会員の皆様には悪天候にも拘わらずご会葬、ご焼香そして過分なるご香料、ご供花、ご供物を賜り誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

◆各委員会新年度活動計画発表つづき

- ◆大塚会員増強委員長～「自分にとってのロータリーの魅力を発見しよう」を念頭に置き、クラブの活性化のために会員増強、退会防止に努めるよう努力いたします。

6. 本日のプログラム ～元木会長

◆新会員卓話

◆樽見出席・プログラム委員長～皆さん、こんにちは

本日はプログラム通りですと、「新入会員卓話」ということで窪田会員、富樫会員の2名を予定していたのですが、富樫会員が欠席となりましたので、富樫会員には次の機会にお話していただく予定です。

そこで、急遽ではありますが、観光船事故の関係で武藤会員にお話ししていただけることになりましたのでよろしく願いいたします。

◆窪田会員～以前、私の前任の森澤が仰せつかりました時には「特殊詐欺」についてお話させていただいたと聞いております。

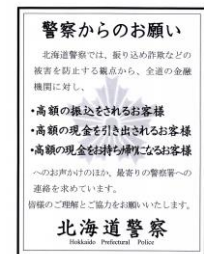
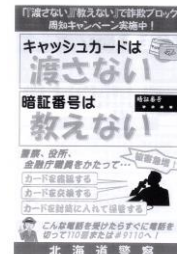
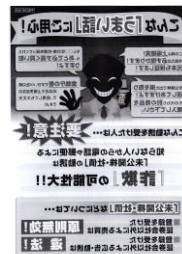
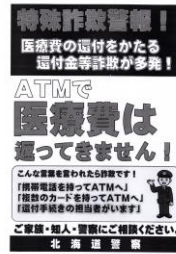
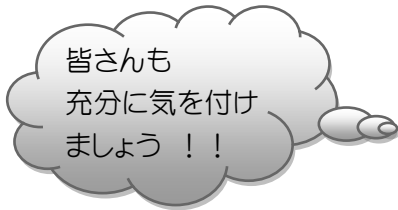
今回は重複しないようにと思ったのですが、詐欺被害が一向に減少しておりません。金融機関職員が出来る「社会奉仕」と考えると繰り返し注意喚起申し上げるしかないということで、私も特殊詐欺についてお話することとしました。

この「特殊詐欺」につきましては散々マスコミなどで報道されていますのでここにいらっしゃる皆さん全員がご承知だと思いますが改めて「特殊詐欺」とは何か？と言いますと《電話などで対面することなく相手を信頼させ指定した口座へお金を振り込ませたり、その他の方法で不特定多数から現金をだまし取る詐欺の総称）になります。

ここでは「電話」というのがポイントになります。この「特殊詐欺」の中でも特に有名なのが「オレオレ詐欺」ですが、これは1999年鳥取県で発生したのが始まりとされていますので、もう20年以上前のことになります。「オレオレ詐欺」はマスコミを通じまして多くの方の知るところとなりましたので被害も一旦減少したのですが、そうなるに詐欺師もまた別の手口を考えて、また被害者が増えるという「いたちごっこ」の中で出てきた数々の手口が「特殊詐欺」ということになります。

「オレオレ詐欺」の他にどんな詐欺があるかと申しますと、主なもので「還付金詐欺」「投資詐欺」「ワンクリック詐欺」「老人ホーム入居権当選詐欺」などが出てきています。





◆武藤会員～「知床観光船の事故と献花に思う事」

この事故で未だ不明の方の発見と亡くなられた方のご冥福をお祈りいたします。

船舶事故の件で献花台が設置後にラルズマートしゃり店の店頭で献花の数量限定ではありますが無料提供を行い、B&G 海洋センターの献花台のお花の管理のお手伝いをさせていただきました。

このことが複数の新聞記事の掲載となり、今回の卓話でのお話をさせていただくことになりました。

はじめは、メディアの取材はお断りしておりました。

なぜなら、花屋が数量限定で無料提供するのは何ら特別なことではないですし、むしろ献花を奨励しているように受け取られるのではないかと多少の危惧もあり躊躇しました。

観光船の事故で心が沈んでいる人が多くいる中で、献花の無料提供をしていることがメディアに載ることによって気持ちが楽になる人もいるのではないかと、という友人の言葉を受けて数社の記者の取材を受け掲載されました。

私は花屋という職業においては冠婚葬祭、生まれてから亡くなるまでのすべての喜怒哀楽をお花で人生のお手伝いをすることです。

この事故を通して、日々の人との関わり方や花屋という職業がどのような役割を負っているのかを深掘することとなりました。

献花は「私のため、私の悲しいと思った気持ちを鎮めるため」であったと気づきました。

この事故は、実際に事故を知った多くの人に悲しみの感情の連鎖を起こしていました。

やり場のない気持ちを献花することで、悲しみの感情を少しでも手放すことになったのだと思います。

献花会場は、やがて花でいっぱいになりました。

献花という行為が全てではないですが、まだまだ寒い4月下旬の遺体安置書となった会場がたくさんの花で覆いつくされ、花の香りで満たされている会場はたくさんの献花に訪れた人の優しさに包まれているように感じました。その優しさを感じられるのも、会場に集まった生花の管理を毎日されていた町職員さんのお蔭です。

無料献花の提供のきっかけは、友人より献花の依頼を受け、その花をお届けしてから、私の花屋としてできることに気づききっかけとなりました。

世の中にたくさんの悲しい事故がある中で、知床沖の観光船沈没は地元で起こったという事実、出来ればそのような事故は、無かったことにしたいくらいショックでした。

それを、時系列と共に私の行動から気持ちの変化をお話することで本日の卓話でアウトプットさせていただきたいと思っております。

● 無償提供の献花

- 1) 4/23 (土) 事故を友人のメッセージで知り、知床で起きたことをまず受け入れたくありませんでした。その前日4/22 (金) に商工会女性部の総会が終わり、さあ「母の日」に向けてこれからダッシュで販売に力を入れようとしていたタイミングでした。
- 2) 続々と明らかになる知床観光船事故の報道中に、何でもよいので何か救われるような新たな報道はないかと期待をして見ておりましたが、より目をそむけたくくなるような報道が続きました。
- 3) 4/25 (月) 午前中に北海道商工会オホーツク管内連合女性部会長より知床沖事故のお見舞いのお電話をもらい、組織の長の心配りに感謝しました。事故を知ってから見守ることしかできないことでのいいのだろうかと考えていた矢先にお電話をいただきました。
- 4) 4/26 (火) 献花台が設けられたとのことで、その日午前中に友人から泣きながら献花の依頼の電話を受けました。友人の分と私の分の二束をお届けにまいりました。不思議なことに、献花という行為をしたことで、今、事故のニュースを見聞きするたびに沈んでいた気持ちが少し軽くなりました。(献花をして、亡くなった方をせめてお花を添えて送り出せた、献花をすることで事故があった事実を受け入れられた、この二つの要因でつかみどころのない不安定な気持ちが落ち着いたと思っております)



献花後に店に帰り、自分は「花屋」として亡くなった方々へ「花」で貢献できるのではないかと考えそれが「無料献花」の提供でした。

5) でも、無料で献花を提供することはいいことなのか、自分で疑問が湧きました。

事故により関連機関の皆さんがそれぞれの現場で忙しくされているのに、無料の献花を提供することでもしかしたら更に混乱と忙しさが生じるのではないかと、そう思うと何もしない方がいいのではないかと、でも、「自分が献花をすることでこの気持ちが軽くなった」この体験は多くの方が、「今、必要なのではないかと」と。

遭難者を、船に乗って一緒に捜索できない、他に何もできないという心の焦りのようなこの感覚は、あの東北の津波の震災時に味わったような不安と、規模や原因は違いますが、今回の事故の動揺が重なりました。

6) この事故において心に重たい気持ちを持つ人が多いはず。

まずは、自分の気持ちを献花で心を落ち着かせる効果を持つと実感しました。そこで、東北の震災に遭った宮城の友人の花屋さんに電話で震災時の「花の果たした役割」をお聞きしました。被災者のご家族は花の1本でも手向けたいという気持ちと、その後毎年今でも花を手向けに花屋を訪れる人との繋がりをお聞きして、私の職業の意味の一つを実感したように思います。花を手向けるのはとても自然な行為なのだ。

7) 無料の献花を思い立ち、最寄りの北見の市場に献花に使える花がないかを電話で相談しました。

明日の午後便ならカーネーションを出せるとのことと、4/27(水)の午後入荷し、水揚げをし、その日の夕方からラッピングをせず、店頭で50本限定で無料の献花の提供を始めました。

花瓶におひとり様1本、献花にご利用くださいと黒板に書いて、うちの花屋が閉まっても、ラルズマートが20:00時の閉店までの間どなたでもお持ちできるようにして提供を始めました。

8) 50本の無償献花、生花ゆえ一度に大量に店頭にご用意しても、全ての花が献花としてご利用してもらえるかどうかはわかりませんが、私の自己満足で終わってもそれでよいと思いました。

9) 水曜日から始めた無料献花は、さほど皆様の目に留まらなかったかもしれません。むしろ地元の皆さんは報道陣に囲まれることを怖がっていましたので、無料献花のカーネーションは1日に数本減るだけでした。しかし、報道で献花台があることが広く知れ渡ったせいか週末の土曜日になり町外の方が献花にと多くのご来店があり、無料献花もどんどん減りました。

10) 多くの方は、献花を購入されました。無料の花をご利用になられるケースは、無償で提供の趣旨を受け入れてくださる方、同行されているご家族の分を無料の花をご利用になられる方、少し急いでいるのでこの花を使わせてもらいますという方、などさまざまな理由で使っていただいたようです。

11) 無料分は4/30(土)にはほぼ無くなり、追加でもう50本の仕入れをしました。その後、B&Gの外に設置した献花台は5/2(月)に撤去し(安置されるご遺体も全てお帰りになられたため)、その後の献花は玄関で職員が受け取りますとの連絡があり、無償分の配布は追加分もほぼ無くなり5/2で無償提供も終了させました。

当初から会場の担当者へはいつでもメンテナンスのお手伝いをする旨は口頭でお話しておりました。(次回へつづく)

7. ニコニコ B O X ～樽見出席・プログラム委員長

・理事就任～藤枝会員

R 財団セミナー 7/24 旭川 アートホテル



8. 出席報告 ～樽見出席・プログラム委員長

◎本日出席～33名中21名出席(出席率:63.6%)

☆ 幹事より次回例会の案内

・次回は8/3(水)第2872回例会(産業会館2F)

ゲスト卓話 斜里町役場 総務部参事 鳥居康人氏(担当:職業・社会奉仕委員会)



2022-2023 国際ロータリーのテーマ

イマジン ローターリー

斜里 RC 会長のテーマ

自分にとってのロータリーの
魅力を発見しよう